

小田急線梅ヶ丘駅近く 羽根木公園の避難所等を見て歩く

5月18日土曜日、当会の見学会行事として「ぶらぶら歩き」を挙行しました。参加者は写真の9人の皆さんに案内役の小林裕を加えた10名です。



今回のぶらぶら歩きの前段の目的は、羽根木公園や代田小学校を見て歩き、緊急時の避難場所や避難所（「避難所等」）が実物を実感することでした。



ぶらぶら歩き経路（その1）：梅が丘駅～羽根木公園～代田小学校～線路街へ



羽根本公園内の移動は以下の順でした。上図、左下に見える梅ヶ丘駅口より梅林を抜け、野球場の南の「さくら並木」へ。そこで理事長より災害時の「避難所等」の説明を受け、さらに公園管理等付近にある標識や防火水槽、消火栓を確認しました。その後、環七通り口より次の目的地である代田小学校方面に向かいました。



羽根木公園のパーゴラ近辺、さくら並木の日陰で、理事長みずから持参くださった配布資料により「指定緊急避難場所や指定避難所」の説明を受けることができました。それまで自治体ごとにまちまちであった避難所、避難場所等の名称や定義が、東日本大震災を契機とし、平成25年（2013年）の災害対策基本法の改正により明確化されました。その結果、市町村長は「指定緊急避難場所」と「指定避難所」を区別してあらかじめ指定し、その内容を住民に周知（公示）しなければならなくなりました。避難所等の情報の市民への公開・掲示方法についても、図記号の標準化などの取り組みが図られています。

（なお、この報告では従来よく使われてきた表現として「避難場所」「避難所」を用いることとし、それらの総称は「避難所等」としました。）

今般みな人と歩いてみた世田谷区の例として、新代田地区の防災マップ（令和6年1月）の凡例部分を見てみましょう。



東京都の指定緊急避難場所である「広域避難場所」に続いて、家の屋根をかたど

った図記号の「避難所」が二種類（指定避難所と福祉避難所），加えて東京都の特徴として○に「一時」と書いた「一時（いっとき）集合所」があります。

今回的第一目的地であった羽根木公園は，その一帯が広域避難場所であるとともに，その中に一時集合所も含んでいました。



羽根木公園に続いて代田小学校前に立ち寄りました。多数の看板でこの小学校の災害時の機能が説明されており大いに参考になりました。災害関連の図記号の周りでこれだけ盛り上がっているおじさん集団も珍しいかもしれません。



上図は代田小学校での避難所の標識のひとつ。代田小学校は「指定避難所」（英訳は Evacuation Center）とされ「家に住めなくなった人が一時的に生活する場所」であるとの説明があります。解説文は和文の他に英文，中文，ハングルの4語が併記されていました。



次の看板は災害時一時（いっとき）集合所（英訳は Temporary Evacuation Area）の解説。右側の記述には、災害時一時集合所は「安全を確認したり、みんなで逃げたりする」ために一時的に集まる場所であるとされています。

看板の左に掲げられた図記号は広域避難場所のもので、先ほど歩いてきた「羽根木公園一帯」を指しています。



三つ目の看板は震災時医療救護所のものです。ここには外国語訳は出ていませんでした。代田小学校は指定避難所や災害時一時集合所であるとともに、震災時の応急措置のための場所でもあることが分かりました。

ここで理事長から皆さんへのクイズです：下図はいずれも都内の「指定避難場所」の標識です。どちらが古い標識でしょうか？ヒントは「大規模な火事」を示す災害種別の図記号の位置です。



都立江戸川高校一帯



区立二子多摩川公園

正解は右の区立二子多摩川公園のほうが新しい。避難場所の図記号に次に、避難の目的、すなわち肝心な災害種別を少しでも高い位置に掲げる、という改変がされたという説明が理事長からありました。国の定めた大筋に従いながら、各地で少しでも市民にとっての分かりやすさを向上する工夫があることを知りました。

## ぶらぶら歩き報告（その2）：下北線路街を見て歩く

小田急線の東北沢～下北沢～世田谷代田の3駅にまたがる下北線路街を構成する施設が全て開業されたのが2022年の5月。それから丸二年を経過した当地を訪問して、かつての線路が如何に様変わりして、現在の周辺の地域とのつながり（あるいは断絶）の実態がどうなっているかを見て歩こうというのが、ぶらぶら歩き後段の目的です。ここでは報告（その2）として、その概要をお示しします。

幾度か下調べした結果、既報の避難所等の見学の後に、下北線路街の西半分、小田急さんの施設番号では①「リージア代田テラス」から⑨の「シモキタエキウエ」までの9施設の範囲を踏破することにしました。

賃貸住宅や保育園など非公開の施設を除いても、ひとつの施設当たりに多数の店舗、事業所を収容するものも多く、とても全てを眺め尽くしたとはいえない。個別の店舗のチェックはいずれ皆さん個々人でなさっていただくこととして、今回はどこに何があるかを大づかみに御紹介するに留めました。

ここでは・・・

（未完）